

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	手話講習会					所管	福祉部 障害福祉課
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和56年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区障害者地域生活支援事業実施要綱				
	事業対象	直接対象:区内在住・在勤・在学者(上級・養成は加えて進級試験合格者) 最終対象:区内の聴覚障害者						
	事業目的	手話講習会を通じて、手話のできるボランティアの養成や、台東区の聴覚障害者に派遣する登録手話通訳者を養成することにより、聴覚障害者へのコミュニケーション支援の充実を図る。						
	事業内容	手話講習会を通じて、受講生の手話技術の習得や聴覚障害への理解を促進する。 ・クラス 昼…初級・中級・上級の3クラス 夜間…上級・養成の2クラス ・授業回数 初級・中級・上級:年間40回(5~3月) 養成:年間20回(5~2月) ・施設見学 初級・中級で実施 ・交流会 初級・中級・上級合同で年1回、12月に実施						
	委託の有無	一部委託	委託内容	初級・中級講座の運営委託				
補助金の有無	国・都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	講習会クラス数	クラス	5	5	5	5	
		[初級・中級・上級(昼、夜)・養成]						
	成果指標	受講者数	人	65	70	59	51	
		修了者数	人	45	45	47	43	
	決算額 (単位:千円)				4,168	4,221	4,199	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,687	4,676	5,614	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,031	2,081	2,030	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			2,137	2,140	2,170	
		総経費			8,855	8,897	9,814	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,034	1,992	1,909		
	一般財源(区負担額)			6,821	6,905	7,905		
前回評価から改善した事項	区内の聴覚障害者を講習会に呼び障害当事者の手話を取り入れて充実を図った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	受講者数は年々減少しているが、区内聴覚障害者の手話通訳に対するニーズは依然として高く、本事業の必要性は高い。					
	効率性	3	手話講習会の初級・中級クラスは、台東区聴覚障害者協会へ運営を委託することにより、地域の福祉資源の活用を図っている。					
	手段の適切性	3	受講生の能力に応じたクラス別の講習会を開催することにより、手話のできるボランティアや台東区の聴覚障害者に派遣する登録手話通訳者を養成することができる。年々受講者数が減少してきているため募集方法を見直す必要がある。					
	目的達成度	3	受講者数は減少しているが、修了者数は一定数を保つことができている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
手話は、聴覚障害者が地域で日常生活を送る上で欠くことができないものであり、聴覚障害者の社会参加促進という面でも非常に有効である。しかし、受講者数が年々減少してきていることから募集方法を見直す必要がある。								